


# KVK ソーラーサーモスタット式シャワー 施工説明書1


## KF800SL

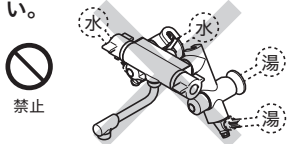


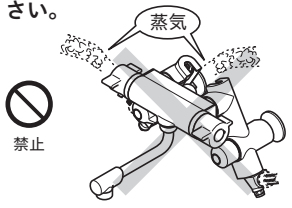


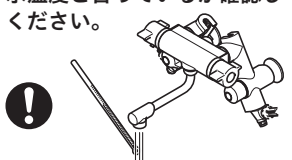


**施工業者様へ** 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。  
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。



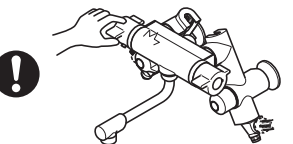
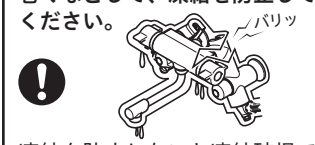
### 安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
  - ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 この絵表示は、しては  
いけない「禁止」の内容です

 この絵表示は、必ず実行して  
いただく「強制」の内容です

<p><b>湯水を逆に配管しないでください。</b></p>  <p><b>禁止</b></p> <p>水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。必ず給水管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。</p>	<p><b>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</b></p>  <p><b>禁止</b></p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p><b>加工および接合等の改造はしないでください。</b></p>  <p><b>禁止</b></p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p><b>給湯に蒸気を使用しないでください。</b></p>  <p><b>禁止</b></p> <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p>	<p><b>水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。</b></p>  <p><b>禁止</b></p> <p>水抜き栓をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p><b>配管などの解氷のため、解氷機を使用する場合は、水栓には絶対に通電しないでください。</b></p>  <p><b>禁止</b></p> <p>通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p><b>温度調節ハンドルの目盛が、吐水温度と合っているか確認してください。</b></p>  <p><b>注意</b></p> <p>取付現場の圧力状況により目盛通りの湯温にならず、やけどをするおそれがあります。</p>	<p><b>スチームルームおよび乾燥室にご使用の際は相談ください。</b></p>  <p><b>注意</b></p> <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p>	<p><b>ストレーナの清掃は止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。また、操作の際は湯側ソケットが熱くないことを確認してください。</b></p>  <p><b>注意</b></p> <p>高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>

<p><b>器具に強い力や衝撃を与えないでください。</b></p>  <p><b>禁止</b></p> <p>器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p><b>めっき部品は、ぶつけたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</b></p>  <p><b>禁止</b></p> <p>めっきの表面が割れて、けががあります。</p>	<p><b>めっきの表面が割れた場合は使用しないでください。</b></p>  <p><b>注意</b></p> <p>けがをするおそれがありますのでただちに使用を停止し、新しい部品に交換してください。</p>
<p><b>注意</b></p> <p>凍結が予想される際は、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。</p>  <p><b>注意</b></p> <p>凍結を防止しないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>		

### 取り付け前に

- ① 使用水圧 (A = (給湯器の最低作動水圧) + (配管圧力損失))
  - (1) 瞬間給湯器との組み合わせ (設定条件 水温: 25℃ 給湯器温度調節: 高温 吐水温度: 42℃ ハンドル全開) **【比例制御式】最低必要水圧: A+50.0KPa (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)**
  - (2) 貯湯式給湯器との組み合わせ **【給湯・給水圧力】最低必要水圧: A+50.0KPa (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)**
- ② 吐水切換ハンドルは全開で使用してください。給湯器が着火しない場合があります。
- ③ 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ④ 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ⑤ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- ⑥ 給湯器の給湯温度は、50℃～60℃に設定することをおすすめします。
- ⑦ 給湯器からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑧ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑨ 太陽熱温水器はシャワーヘッドより4m以上の高さの所に設置してください。
- ⑩ 本製品は改造(加工および接合等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑪ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

### 故障かなと思ったら・・・

修理を依頼される前にお確かめください。

**➡ 取扱説明書「故障かなと思ったら・・・」参照**

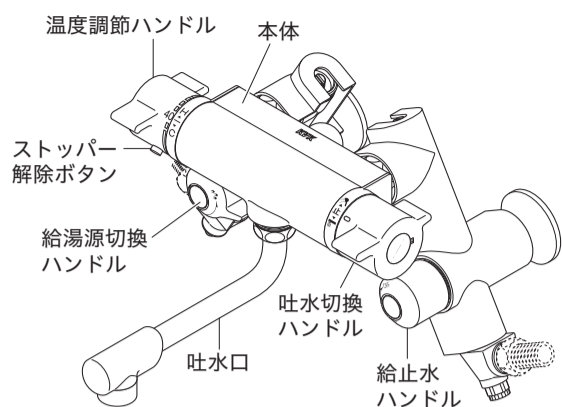
**【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】**

**【警告】** 修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。

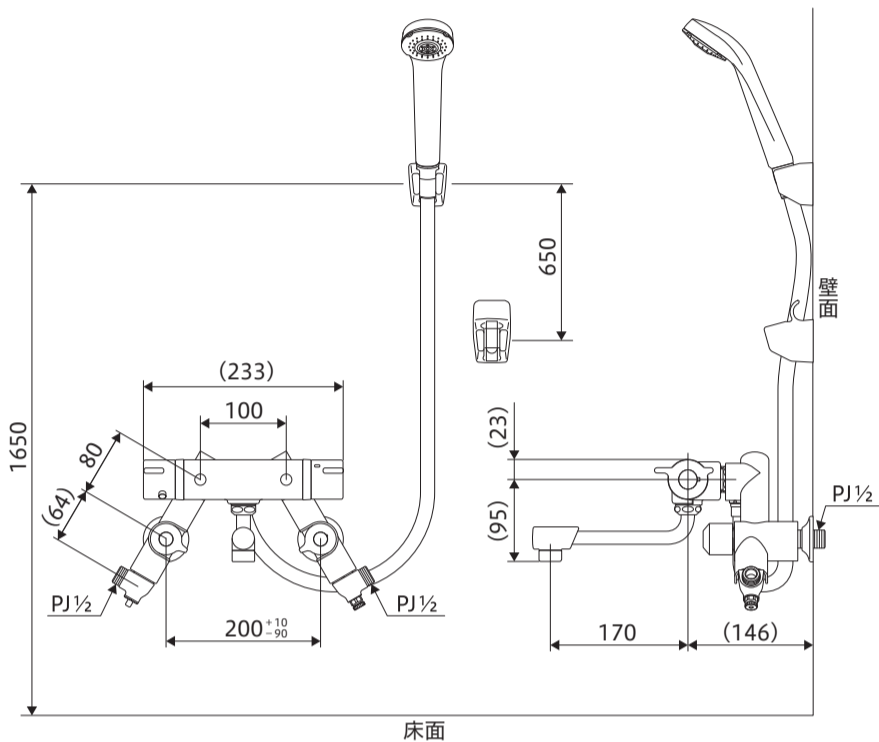
取り付け完成図と各部の名称 / 寸法図 / 分解図

この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。

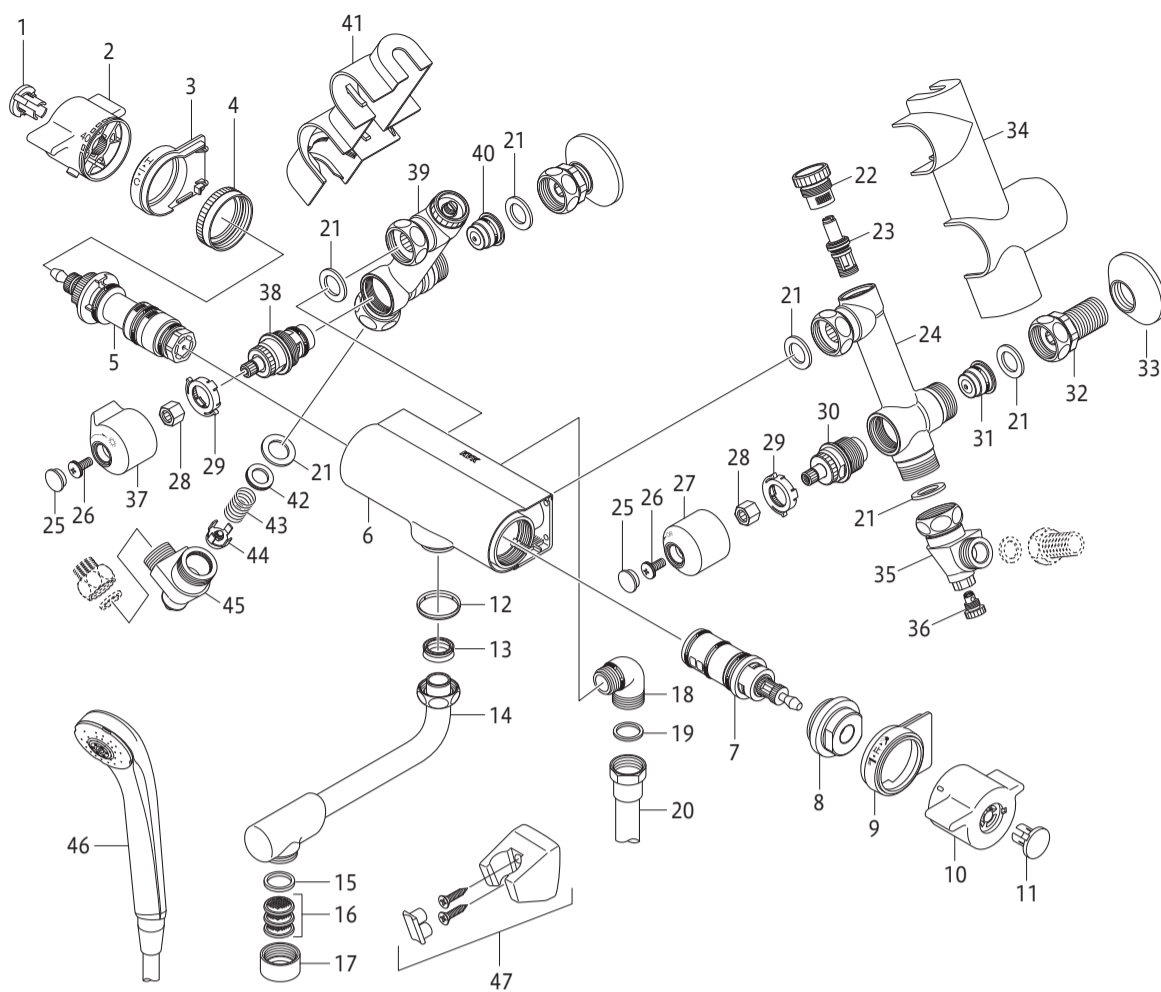
取り付け完成図と各部の名称



寸法図



分解図 部品の形状は仕様によって異なる場合があります。



1 キャップ	11 キャップ	21 パッキン	31 水側逆止弁	41 湯側ソケットカバー
2 温度調節ハンドル	12 リング	22 ストレーナ	32 取出しソケット	42 ねじリング
3 温調カラー	13 Xパッキン	23 止水弁	33 送り座	43 スプリング
4 温調固定ナット	14 吐水口	24 水側本体用ソケット	34 水側ソケットカバー	44 逆止弁
5 サーモスタットカートリッジ	15 パッキン	25 キャップ	35 エルボユニット	45 エルボユニット
6 本体	16 ストレーナ	26 ねじ	36 水抜き栓	46 シャワーヘッド
7 一時止水付切換弁ユニット	17 整流器キャップ	27 給止水ハンドル	37 給湯源切換ハンドル	47 シャワーハンガー
8 切換固定ナット	18 シャワーエルボ	28 ハンドル金具	38 切換ボンネットユニット	
9 切換カラー	19 パッキン	29 ノッチカラー	39 湯側本体用ソケット	
10 吐水切換ハンドル	20 シャワーホース	30 止水ボンネットユニット	40 湯側逆止弁	

3 ページ

4 ページ

取り付け手順 1

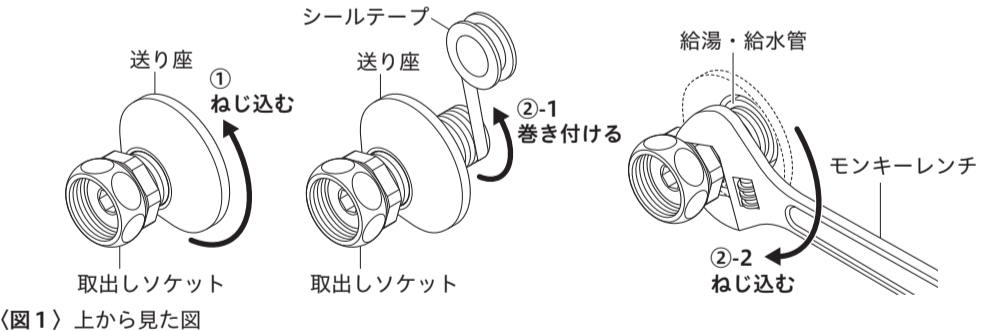
1 給水管内の清掃

配管工事後、必ず給湯・給水管内のゴミを取り除いてください。

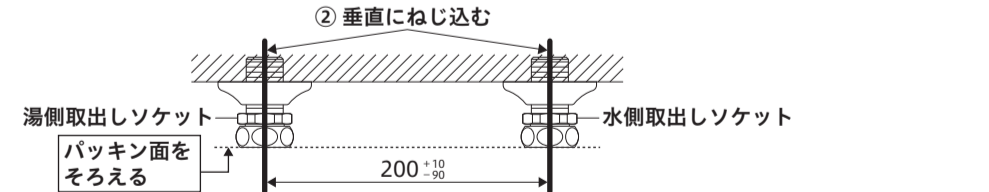
2 取出しソケットの取り付け

① 取出しソケットに送り座を奥までねじ込みます。  
② 取出しソケットのねじ部に向かって右向きにシールテープをくい込むように巻いて、配管に垂直にねじ込みます。(送り座を壁へ当てます。)  
【△注意】取出しソケットの配管へのねじ込みには必ずモンキーレンチ等を使用して取り付けてください。適切な工具を使用しないと、配管からの漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。  
【お願い】図1のように湯側と水側のパッキン面は、段違いにならないようにしてください。

【お願い】図1のように湯側と水側のパッキン面は、段違いにならないようにしてください。



〈図1〉上から見た図

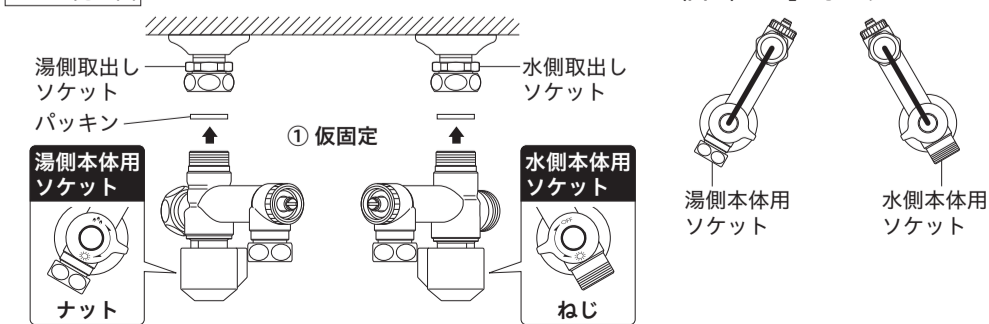


3<sup>1</sup> 本体用ソケットと本体の取り付け

① 取出しソケットにパッキンを入れ、本体用ソケットの湯水を確認し、取出しソケットに仮固定します。  
【お願い】・湯側本体用ソケットと水側本体用ソケットは図1のように「ハ」の字にして取り付けてください。  
・湯側本体用ソケットと水側本体用ソケットの取り付け間違いに注意してください。

上から見た図

〈図1〉「ハ」の字にする

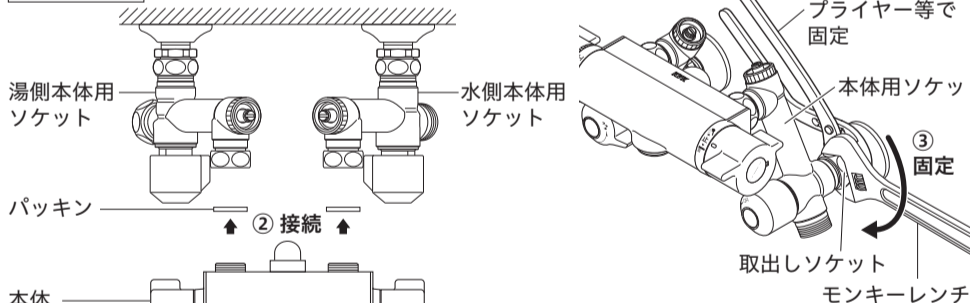


5 ページ

3<sup>2</sup>

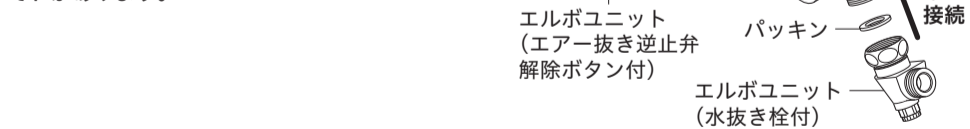
② 湯水本体用ソケットと水栓本体の間にパッキンを入れ、袋ナットで本体を固定します。  
【△注意】本体用ソケットと水栓本体との締め付けは、モンキーレンチなどで確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。  
③ 取出しソケットと本体用湯水ソケットを固定します。  
【△注意】取出しソケットと本体用ソケットとの締め付けは、モンキーレンチ等で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。

上から見た図



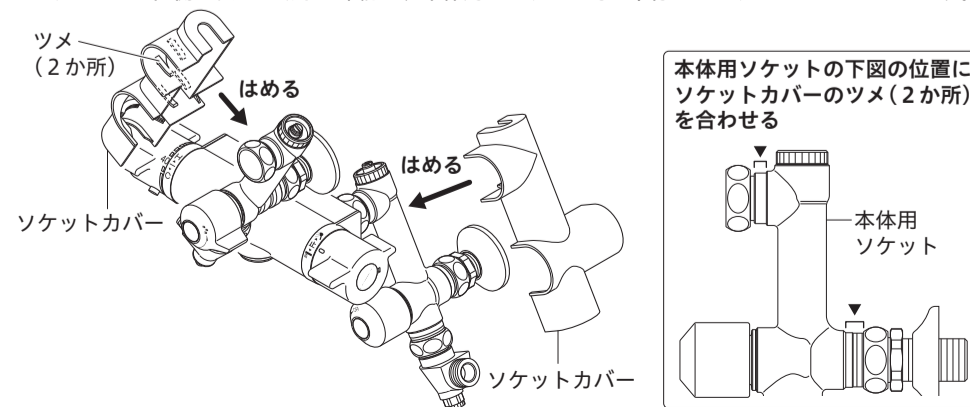
④ 湯水本体用ソケットとエルボユニットの間にパッキンをはさみ、エルボユニットを取り付けます。

【△注意】エルボユニットと本体用ソケットとの締め付けは、モンキーレンチ等で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。



4 ソケットカバーの取り付け

湯水本体用ソケットにソケットカバーを取り付けます。ソケットカバー内側の表示で湯水を確認し、本体用ソケットに対し平行にソケットカバーをかぶせます。



6 ページ



## 取り付け手順 2

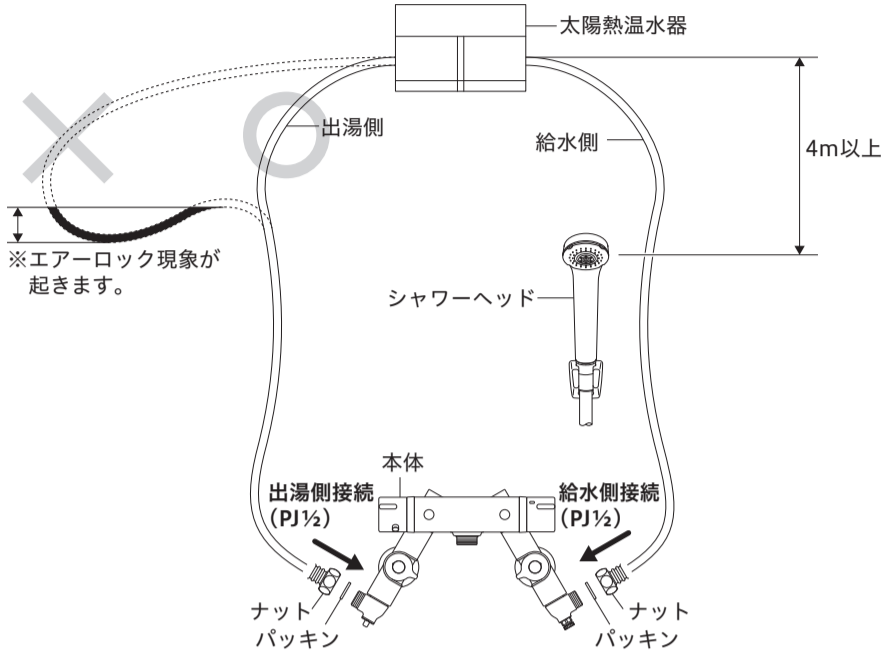
### 5 太陽熱温水器の取り付け

太陽熱温水器とエルボユニットを接続します。

【△注意】ナットの締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、本体が緩んだり、がたつきが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

【お願い】・太陽熱温水器からの出湯側配管は、配管途中での立ち上がりが絶対ないように設置してください。立ち上がりがあると、エアロック現象(※)が起きる場合があります。  
・太陽熱温水器は、シャワーヘッドより4m以上の高さのところに設置してください。  
・給水圧力が高い場合は、太陽熱温水器へ逆流することがありますので止水弁をしぼって流量を調節してください。(「流量の調節方法」を参照してください)

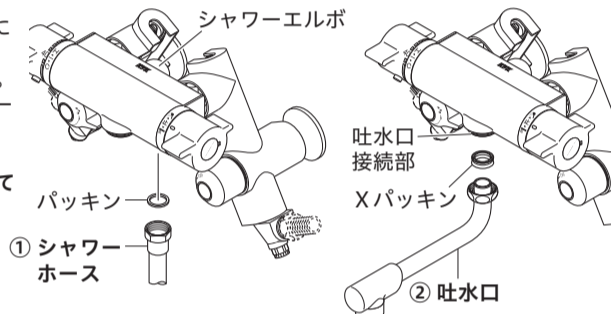
※エアロック現象…配管の下った部分が常に水が溜まった状態になり、太陽熱温水器内のタンクの湯を全部抜いたとき再度タンクを満タンにしても湯が出てこなくなる現象。



### 6 シャワーホースと吐水口の接続

① シャワーホースをシャワーエルボに接続します。  
② 吐水口を吐水口接続部に接続します。締め付けは二面幅に合わせてモンキーレンチ等で行ってください。

【お願い】締め付ける際は傷がつかないように、あて布等をしてください。



7 ページ

### 7 ステッカーの貼付

使用方法ステッカーを見やすい位置に貼り付けてください。

## 取り付け後の点検と清掃 1

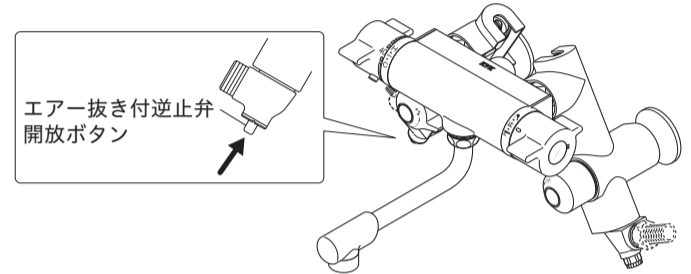
### 通水確認

【△注意】水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めを5～6回繰り返し、配管接続部および水栓から水漏れが無いことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

### エア抜き方法

万一、エアロック現象で太陽熱温水器から湯が出なくなった場合、下記の方法でエアを抜いてください。

エア抜き付逆止弁開放ボタン(1か所)を押してエアを抜きます。



### ストレーナ清掃のお願い

#### ソケットのストレーナ清掃

ソケットのストレーナにゴミがたまりますと、吐水量が減ったり、希望する温度にならない場合がありますので、施工後必ず清掃してください。

➡ 取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

#### 吐水口のストレーナ清掃

吐水口のストレーナにゴミがたまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

➡ 取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

8 ページ

## 取り付け後の点検と清掃 2

### サーモスタットカートリッジの清掃方法

サーモスタットカートリッジにゴミ、水あか、汚れ等が付着しますと、吐水量が減ったり、温度調節がうまくできなくなったりしますので清掃してください。

【△警告】サーモスタットカートリッジの清掃は、止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。サーモスタットカートリッジをいきなりはずしますと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

① 湯水両側の止水弁[2か所]または元栓をしっかりとしめて、湯水が出ないことを必ず確認してください。

② 薄手の布を精密ドライバー先端にかぶせます。

【お願い】キャップをはずす際は、傷がつかないようにしてください。

③ 精密ドライバーをハンドルの切り欠き部に差し込みキャップをはずします。

④ 温度調節ハンドルをはずします。

⑤ 温調カラーをはずした後、温調固定ナットを取りはずします。

⑥ サーモスタットカートリッジを取りはずします。

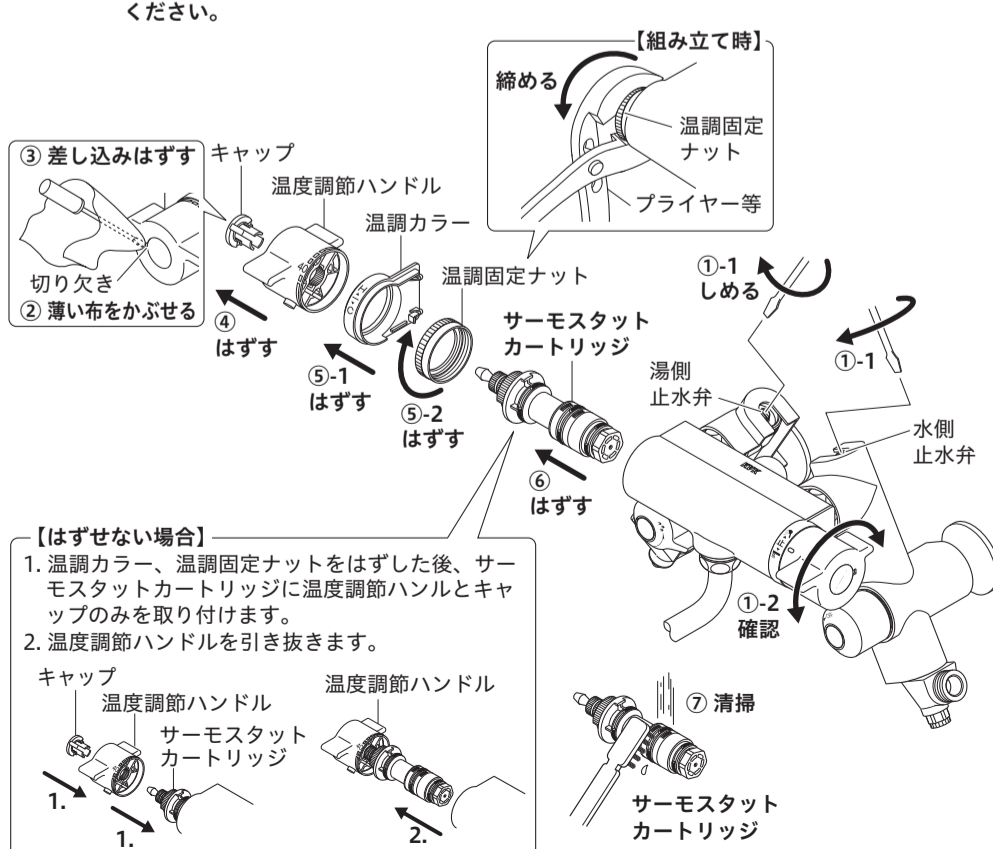
(はずせない場合は、温度調節ハンドルとキャップをはめた状態で引き抜いてください。)

⑦ サーモスタットカートリッジをブラシで水洗いします。

清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

【お願い】・組み立て時、温調固定ナットはプライヤー等で確実に締め付けてください。

・取り付け後は、温度調節ハンドルの目盛と吐水温度が合っていることを確認してからご使用ください。



9 ページ

## 取り付け後の点検と清掃 3

### 温度調節ハンドルの設定方法

工場出荷時に温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況により目盛通りの湯温にならない場合があります。温度調節ハンドルの目盛がズレている場合、温度調節ハンドルをはめ直してください。

【はじめに確かめてください】

・止水弁を全開にしているか確かめてください。  
・ストレーナにゴミがたまっていないか確かめてください。  
・給湯温度50℃～60℃の湯が給湯できているか確かめてください。

① 湯側ソケットの給湯源切換ハンドルを反時計回り(▲▲の方向)いっぱい回して、給湯器側に切り換えます。

【お願い】温度調節ハンドルの設定を行う際は、太陽熱温水器側で設定しないでください。

② 吐水切換ハンドルをシャワー側に回し、全開吐水で目盛に関係なく40℃のお湯が出る所まで、温度調節ハンドルを回します。

③ 薄手の布を精密ドライバーの先端にかぶせます。

【お願い】キャップをはずす際は、傷がつかないようにしてください。

④ 精密ドライバーをハンドルの切り欠き部に差し込みキャップをはずします。

⑤ 温度調節ハンドルを回転させないように取りはずします。

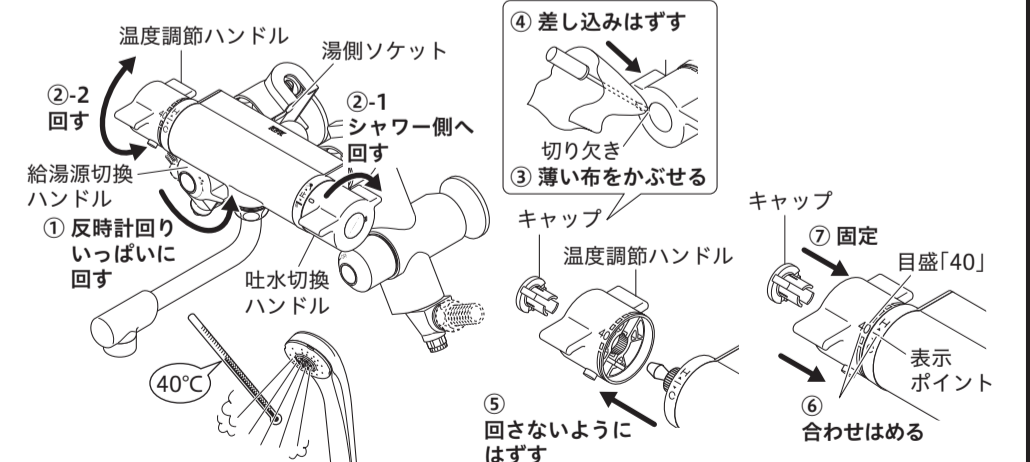
⑥ ハンドルの「40」の目盛を表示ポイントに合わせてはめます。

⑦ キャップにて固定します。

【お願い】取り付け後は、温度調節ハンドルの目盛と吐水温度が合っていることを確認してからご使用ください。

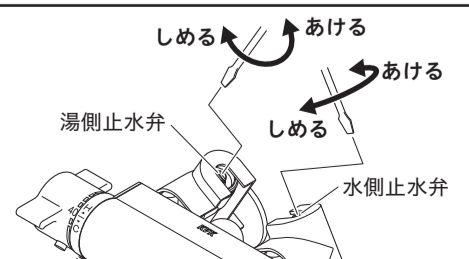
※目盛は、温度表示ではありません。目盛は、温度調節の目安としてください。

※太陽熱温水器とその他給湯源(給湯器等)の圧力・温度の条件によっては温度調節ハンドルの目盛に合った吐水温度が得られない可能性があります。



### 流量の調節方法

流量の調節は右記の方法で行ってください。また、給水圧力が高い場合は、太陽熱温水器へ逆流することがありますので、止水弁をしぼって流量を調節してください。



10 ページ

405506-00